

REED-A

2020 4月号

リード・エー通信

master@reed-a.org

NO.443 編集発行

(社福)リード・エー事務局

03-3857-8839

<http://www.reed-a.org>

【新年度を迎えるにあたって～不安定の中に安心を築く～】

新年度が始まり、いつもなら気持ちも新たにさあ、メンバーとどんな面白いことを見つけ、今ある課題に向き合っていこうか！と春の訪れと共に歩み出すはずが、今年は新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、日々感染に対する恐れと不安が重く心に沈み込んでいます。日々の暮らしの中では、メンバーの笑顔に支えられながらも、感染しないように「手洗い」をするようしつこく言い続け、マスクを着用してもらっています。また、可能な範囲で机・手すりやドアノブ等の消毒も行っています。世界中で何気なく過ごしていた日常生活が突然奪われ、不安定な状態になっています。また、今まで当然と思っていたことも、これを機に考え直す流れが起きてきています。例えば、学校。突然の休校。今まできちんと進めなければならなかった「学習指導要領」に基づいた授業進行。皆同じ教室に集まって、決まった時間先生の話聞いて学ぶ学び方。外国ではPCによる在宅授業がこんなに進んでいたとは知りませんでした。では学校は何のためにあるのか・・・いま、見直すべき時に来ているのでしょうか。さらに、働き方改革が叫ばれてなぜか働き方ではなく「働く時間の短縮」に目が向きがちでしたが、この機に本来の働き方について考える機会となるでしょう。

そして、リード・エーもメンバーの高齢化が進み、今までの在り様を見直す時期に来ています。法人設立前から一緒に歩んできたメンバーの多くは50歳なかばを超えました。今の作業所になってから加わったメンバーの多くはまだまだ若いですが、就労継続支援B型を利用されているメンバーは18人中15名が40歳以上でその中で50歳以上は8名、最高齢は今年79歳になります。今まで全員を3班に分けて、畑や請負作業、木箱作業を週替わりで行ってききましたが、参加が難しいメンバーがでてきました。現在は個別対応を行っていますが、別の取り組みを考える必要性が出てきました。さらに、畑の土地問題は一向に解決をみる事が出来ず、そろそろ法人として作業所として「畑作業」にどう取り組むのか決断を迫られつつあります。もちろん、畑作業はメンバーにとって、また職員にとっても自然と共に生き、植物を育てる楽しみと難しさを味わう事が出来ると同時に、様々な作業があることでメンバー皆が関わることができる作業です。広い空間で体を動かし、メンバーの気持ちの安定にも良い効果もたらされています。さらに花を通じて地域のみみなさんとのふれあいもたくさん生まれています。この作業をより良く継続していくための工夫と決断が求められる時期が来ています。

また、グループホームも高齢化が進みつつあります。と言っても、メンバーはまだまだ自力通所ができていますし、体調を崩すこともほとんどなく元気に過ごせていますが、高齢化に向けてどういった支援が必要になるのか具体的に考えていく必要性を感じています。現在は作業所看護師の全面協力を得て、通院対応や心身の変化への対応を行っていますが、世話人の専門知識の習得、資質向上が迫られています。まずは世話人を朝夕二人体制にし、よりきめ細かい支援をしていきます。

不安定な世の中に対応しながらメンバーが地域で安心して暮らせるように、模索していきます。新型コロナウイルス感染拡大が早く収束し、日常を取り戻すことを切に願うばかりですが、今までよりもより良い日常をおくれるよう、メンバーと共に歩んでいきたいと思っています。（池田）

早いもので、もう年度末になってしまいましたね。

畑に行く途中に通る小学校では、新型コロナウイルスの影響で、卒業式を校庭で行っていました。作業中にも、風によって校歌が聞こえてきました。色々と変更があり大変だったでしょうが、とても天気の良い穏やかな日で、桜も満開に近い状態での卒業式は、きっと忘れられないものになったと思います。



葦の会作業所でも少なからず新型コロナウイルスの影響があります。週末のイベントや竹ノ塚センターでの花売りが中止になってしまい、嫁ぎ先が無くなってしまったお花たちがとてもたくさんあります。そこでまた、市場にお花を出荷することになりました。リビングストーン・オステオスペルマム・ロベリア等持って行ったのですが、特に好評だったのが「シレネ」という濃いピンクの、横に広がるように咲くお花です。「ピンクパンサー」というカッコイイ名前の種類です。私的には、大人気のサクラソウに次ぐ、葦の会の例年の一押し商品になれるのではないかと考えています！初夏まで咲く元気の良いお花ですので、ぜひおうちに置いてみてください！

さてさて、先月末から、畑は大改造！ハウスの前には砂利を敷きました。ブルーベリー畑だったところには、秋に集めた落ち葉からできた腐葉土を置く場所を作りました。スギナ等生えていたものを草抜きし、土を持って行って踏み固めて平らにしたところに戸板を敷き、板で作ったパーテーションを置いて4個の落ち葉の山ができるようになりました。早速、落ち葉の大移動をしたのですが、お呼びがかかって大活躍したのは久保さん・宮島さん・荒木さんです。休むことなくどんどん運んでくれました。越前屋さんや桑原さんは、運んだ落ち葉をきれいに山にしていました。そして…いつもは力仕事をやりたがらない鄭さんが、運ぶ作業に参加してくれました！松村さんが落ち葉を一輪車に乗せてくれて、「鄭君！こっちだよ。運んでいいよ。」と合図を出してくれます。すると、楽しそうに話しながら、運びます。ただ、押して運ぶのはちょっと苦手で、バックしながら進んで行くんですけどね。それでもぶつかったりせずに何度も往復していました。松村さん・鄭さんコンビは、しゃべったりしなくても通じるものがあるようです。

今月は種床から発芽したものを、ポットに植え替える作業をたくさん行いました。本多さん・野尻さん・今井さんなどの大ベテラン組はもちろんのこと、挑戦！組も頑張りましたよ！雑草を剪定ばさみでカットするのが大好きで、そればかりやりたがる清水さんですが、その日は素直にやり始めてくれました。固い土でも、指で穴をきれいに



あけて根っこがでないように、まっすぐに植えることができました。その時に清水さんが歌っていたのは何故か、森山直太郎さんの「夏の終わり」。季節的に「さくら」が聞きたかったな～。また気分が乗ったら一緒に植えて下さいね！



新年度からの班の発表もあり、畑での雰囲気はどうなるのか今から楽しみです。気持ちも新たにきれいなお花を作りましょうね。

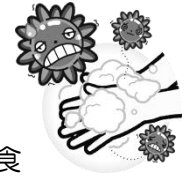
あしの家だより



【西新井ホーム】

鎌田 奈緒子

毎日に春を感じる穏やかな陽射しが多くなってまいりました。連日の新型コロナウイルスの報道、これに伴う不要不急の外出自粛、イベントの中止等と共に、東京オリンピックの開催も延期になってしまった状況下ですが、西新井ホームの皆さんも危機感を覚えつつ、(危機感をお持ちいただいていると信じて) 世話人立ち会いの元、手首まで除菌用液体石鹸をたっぷり泡立て、しっかり手洗いを行って頂いています。和也さんが「終わってほしいよ～」と言われますが、そこは「しっかり洗えたらね」と言いつつ、頑張ってもらっています。休日はサイクリングに繰り出す勝さんは「人混みが多い所は行かない!! □ コロナ怖いからね」と自ら宣言をして、マスクを着用し出発されています。明久さんは三連休前には「お出かけはないの?」とホワイトボードを見ながら尋ねてきました。ごめんなさい もう暫く我慢して下さい! 早く笑顔で外出して美味しい物沢山食べて、カラオケしたいですね。



ホーム内の除菌・掃除の強化徹底は勿論の事、栄養価の高いバランスのとれた食事の提供・検温等日々たゆまぬ努力を重ねています。どうかこのままインフルエンザにかかる人もなく、そして新型コロナウイルスの感染拡大の終息を願うばかりです。

【西伊興ホーム】

佐藤美津子

今、新型コロナウイルス感染拡大の話題で持ちきりです。その為、せっかく桜が満開になっても花見は自粛するように! との発表が出て何処にも外出出来ませんが、この原稿を書いている今、舎人公園では陶器市を開催しています。舎人公園はホームのすぐそばなので、女性三人と松本さんの四人で気晴らしに陶器市を見学して来ました。人出はそんなに多くなかったようでした。陶器はあまり関心がないらしく、さっさと終わってしまいました。ホームでの休日の過ごし方は、女性三人は三時のおやつと飲み物をコンビニに買いに行く事ぐらいです。あとは自室の掃除と整理整頓をしています。いつも楽しみに出かけている、グランファミリアもちょっと我慢です。早く新型コロナウイルスの治療薬やワクチンができるといいですね。マスクは中々何処の薬局やスーパーでも買う事ができません! 今ある使い捨てマスクを洗って二度使っています。作業所のご近所の方が下さったというとても立派な(立体型にしっかりと縫ってあります)布製マスクを使わせていただいている人もいます。ホームでは必ず手洗い、うがいを口がすっぱくなるくらい声かけをしているせいか、幸いなことにみんな元気で仕事に行っています。



ホームのお手伝いでは花田さんと松本さんの二人がいつも食器拭きや片付けをしてくださいます。とても助かってます。増田さん、安部さん、田沢さんの三人は全員の洗濯物を干して下さいます。いつもありがとうね!

これからも新型コロナウイルスに負けない抵抗力をつけるよう、栄養バランスの良い食事作りを行い、健康な体で作業所へ行ってほしいと思っています。

カルチャー教室 今後の予定

音楽	4月16日	さをり	4月はお休みします
陶芸	4月はお休みします	習字	4月はお休みします
水彩画	4月10日・24日		

作業所日誌

中江 聡

新型コロナウイルス感染拡大防止の影響があちこちで出始め、私たちが頂ける仕事もなくなるのではないかと心配しました。しかし、ありがたいことにそれは杞憂に終わりました。年度末となる三月もさまざまな内職を行いました。まず、この記事を書いている今現在、メンバー総出で取り



掛かっているのが、洗顔料の試供品を入れる内職です。工程は、袋の中に商品の紹介等が書かれている冊子と試供品のボトルを入れて、封を閉じる作業です。まずは、袋の中に冊子を入れる作業を行います。こういった封入作業が得意な田沢さんは、とても素早く作業を行ってくれます。量もたくさんこなしてくれています。次は、冊子の入った袋の中にボトルを入れていきます。この作業もたくさんのメンバーが行ってくれましたが、特に作業のペースが早かったのは、花房さんです。次から次へと素早くボトルを入れていきます。あまりにも早いので、袋に冊子を入れるのが

間に合わなくなる程でした。奥さん、松本さん、越前屋さんもこの工程を丁寧に行ってくれました。最後は、それらの袋をとじていきます。これらは、松村さん、花田さん、幸坂さんたちが行ってくれました。次から次へと封をとじる袋が、彼らの作業場所に運ばれてくるので、やってもやっても終わらないようなプレッシャーがあったと思いますが、集中を切らすことなく作業を行ってくれています。これらの作業は、まだたくさんの量があり、しばらく続く事になりますが、最後まで、気を抜かずに頑張りたいと思います。

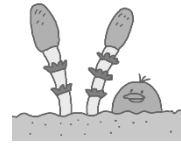
また、似たような工程のものでは、ステッカー10枚袋に入れる作業を行いました。以前にも行った事がある作業だったのですが、これらは、明久さんや遼さんらが、丁寧に作業を行ってくれました。これらも上記の作業同様、封をとじていきます。大久保さん、毛利さんが、最後まで素早く正確に行ってくれました。

三月に行った作業で、いつもとは違った内容のものと言えば、ビニール製のエコバックの検品作業です。バックの取手が外れていないか、ねじれて付いていないかを確認する作業です。この作業では、特に村田さん、今井さん、安部さん、白井さんが活躍しました。エコバックは50枚がまとまってビニールに入っており、検品後にまたそのビニールに戻すのですが、彼らは、袋から出すところから、検品し、元通りに戻すまで、一通りの流れを任せる事が出来たので、大変助かりました。この内職もかなりの量があり、作業を行っているとな機械的な動きや確認になってしまいがちでしたが、そんな中でも不良品をきちんと見つけてくれました。



そして、定期的に頂いている仕事も引き続き行いました。小箱を折って、お菓子やお茶を入れる作業では、素早く正確に行える斎藤さんに頼る事が多かったです。また、お饅頭を入れる箱折りでは、箱を内藤さんが折り、大きい仕切りを清水さんが折り、小さい仕切りを大竹さんが折るなど、得意分野に別れて、一つの箱を一丸となって完成させていきました。メンバーのみなさんは、新年度も内職や木箱作り、自転車清掃等、作業所内で行う仕事をどうぞ、よろしくお願いします！

奥君日記より (2020年2月)



- 2日 3月最初に降った雨は、B班の畑作業よりスタートだ。午後トランポリンのA班は、大竹さんが嬉しそうに跳んでいた。
- 3日 今日のいきいき水彩は、「水仙・アボガド・ドーナツ」を描いた。何と一番上手なのは俺だって!? ホームは土屋さんで「チラシ寿司を頂く。」土屋さんに会うのは、久々だった様だ。
- 4日 いきいき音楽は小林先生、花粉症の顔で来てくれた。そして今日面白かった歌はauのCMで使われているピクニックの替え歌、「やってみよう」を皆で楽しく歌った。今日はメンバー全員作業所の仕事。午前は箱づくりだが、午後より仕事の内容が変わり、内職で「エコバックの検査」をした。色々な内職がある! それは、バックとして使えるのかどうか。持ち手の部分の検査で、コツをつかめば早い?! ホームは石井さんで和也君曰く玉子の親子丼を食べたい」石井さんとも久々だった。
- 6日 午後より職員関根さんと、公園掃除に行く。C班からは宮島君と越前屋さんが来ている。越前屋さんは、子供の頃良くこの公園で遊んだらしい。懐かしがっていた。
- 9日 A班のトランポリンは、午後で水越君が張り切っていた。それは(自分が習いに行っている時の)土曜の先生だからだそう。本人曰く「あの先生は僕の先生だから、遠君変なことしないでね! ?」今日は男性の先生で、いつもは女性なので上手く事が運ばない? 帰りは安部・増田・俺で帰り、寄り道をして帰りが遅れた俺は世話人鎌田さんに怒られた。当たり前なこと! 心配しながら待つ居る人の事を考えなくては駄目だ。
- 10日 今日の水彩は簡単そうな「大根とアボガド」だった。誰が一番とかは決められない、皆上手だと思う。
- 11日 いきいき音楽は小林先生で「お早うソング」からauのCM「やってみよう!」を歌う。この歌はピクニックの替え歌でみんなが知っていて面白い歌。だけど、声が小さい様だ。
- 13日 さて今日は、反省の文。9日(月) たまたま帰りが一緒だった、安部・増田・俺で途中コンビニのトイレに入った俺と手を洗いに入った安部さん。増田さんは、すました顔で立ち読みをしていた。直ぐに帰れば良いのに外に出たら給食の野沢さんと会い、「シュークリーム」という言葉によって断り切れず、少し帰りが遅れた。6時前には着いたが待っている世話人さんの事とかも考えていなかった。この話は池田さんにした方が良い、安部さん曰く「しなくても良い」との事。鎌田さんは「自分で言う事!」悩んでいましたが、前にも安部さんの知人という人に誘われて、断り切れず寄り道。「俺は一人で帰った方が良いのでは?」 とにかく、池田さんに話そうと思って今日話した。池田さんは知っていて黙っていたよう。自分で考えて! 後で嫌だった、断れなかったと言うのなら、その時に断ることも大事と。鎌田さんには心配のかけっぱなしだ、御免なさい。もっと早くに池田さんに話をしていれば良かったかも知れないね。安部さんは良いけど、俺はこの事件があった月曜日「もやもやしたままだった!」 ぷー
- 17日 今日は竹ノ塚自転車掃除をやる。大久保君・花田君もやって12台終えた。それにしても、俺が担当した自転車は汚れていた。磨きがいがあるが・・・。
- 24日 今日はいきいき水彩が無かったので箱作りを一日やった。俺と桑原君だ。内職も忙しそうな感じ。村田さんや大竹さんまでピオレを1階に取りに来る・・・! 4月から正式に入る職員前



沢さんという男性が来た。水越君から見ると「面白い人」だそうだ「普通だよ！」と誰か。

《法人主催行事について》

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、例年行っている行事は下記のようにいたします。

5月中旬に行っているリード・エー春祭りを今年は開催せず、5月15日（金）～18日（日）の4日間にお祭り価格での花の売り出しのみ行います。場所は葦の会作業所です。期間が長いので、ゆっくりとお越しください。

また、例年春と秋にハイキングに行っていますが、こちらもこの春は企画しません。現時点では夏以降で、これまで通り年に2回行きたいと思っています。

木更津での潮干狩りは6月21日、岩井海岸での海水浴（夏旅行）は8月1、2日を予定していますが、状況を見て決定し、次回以降の通信にてお知らせします。参加を楽しみにして下さっていた皆様には申し訳ございませんが、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。



＜花売り情報＞

4月 8日（水）ビッグ・エー花畑店

4月 9日（木）ベルクス南花畑店

4月15日（水）ビッグ・エー南花畑店

4月16日（木）ベルクス古千谷店

※「竹ノ塚センター」は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、4月20日まで閉館しています。当初予定していた21日（火）の花売りについては、現状では難しいかと思っています。

5月・6月に例年参加していた「ボランティア祭り」「ハート&ハート」は中止になりました。

編集後記

先月号でお知らせした、「り〜どおるがん」のリニューアルに際して、作業所2階にずっと置いてあった大きな「パキラ」の鉢植えを1階の「り〜どおるがん」に降ろしました。お店を飾る観葉植物の目玉？としての役割でした。しかし、2階でメンバーと共に暖房の中で、しかも下から冷え込んでくることなくずっとぬくぬくと過ごしてきたパキラにとって、ドアが開け放たれて外気と常に触れ、夜は地面からひしひしと寒さが伝わってくる環境は、辛かったのでしょう。日に日に葉っぱの色が抜けていき、葉っぱ自体も1枚、また1枚と散っていきました。今までこんなことは一度もなかったのに……。固くなってしまっている土を変えれば・・・と少し大きめの鉢に植え替えたりしましたが、直ぐに元気になるような様子もなく葉っぱは今3～4枚になってしまいました。ずっと元気だったのに、ついに枯れてしまうのか〜！と寂しく思っていたのですが、今日新しい小さな芽が出ているのを発見しました＼(^o^)/ 良かった。私もパキラのように、頑張るぞ〜と前向きな気持ちになれました(*^~^v)。

さて、家にいる時間が長いので、先月はお勧めの本を紹介しましたが、今日はネット配信されている映画をご紹介します。「インディペンデントリビング」という題名です。大阪にある自立生活センターを舞台に、障害当事者（主に身体障害者）が運営をし、日常的に手助けを必要とする人が、一人で暮らせるよう支援をしています。様々な障害を抱えながら、家族の元や施設ではなく、自立生活を希望する人たち。自由と引き換えに、リスクや責任を負うことになる自立生活。家族との衝突、介助者とのコミュニケーションなど課題も多く、時に失敗もしながら、自ら決断し、生活をしていくドキュメンタリーです。もともとは映画館で上映予定でしたが今回の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、映画館での上映が難しくなり、ネット配信することになったようです。沢山の映画がネット配信されているのでご覧になる機会も多いと思いますが、これも選択肢の一つに加えてみてください。（池田）